

日建連表彰 2023 第 4 回土木賞

多摩川スカイブリッジ

日建連表彰2023



第4回土木賞

一般社団法人日本建設業連合会（日建連）では、2020年に同賞を創設し、社会基盤として国民生活と経済活動を支える土木分野の優れたプロジェクト・構造物を表彰しています。

多摩川スカイブリッジ 概要

- 所在地：神奈川県川崎市川崎区殿町3丁目～東京都大田区羽田空港2丁目
- 施設管理者：川崎市建設緑政局広域道路整備室、東京都建設局
- 設計者：五洋・日立造船・不動テトラ・横河・本間・高田共同企業体
- 施工者：五洋・日立造船・不動テトラ・横河・本間・高田共同企業体
- 関係者：国立研究開発法人土木研究所、五栄土

木株式会社、大新土木株式会社、パシフィックコンサルタンツ株式会社、鹿島道路株式会社、株式会社トーヨーテクニカ、深田サルベージ建設株式会社、磯部塗装株式会社、河川河口の環境アドバイザー会議、景観検討会、株式会社オリエンタルコンサルタンツ

●着工日：2017年6月23日

●竣工日：2022年3月31日



《日建連表彰 2023 第 4 回土木賞受賞プロジェクト・構造物》 赤谷3号砂防堰堤工事／天ヶ瀬ダム再開発トンネル減勢池部建設工事（Ⅰ期～Ⅲ期）／五十里ダム施設改良工事／五十里ダム取水放流設備新設工事／環2地下トンネル（仮称）及び築地換気所（仮称）ほか築造工事（27一環2築地工区）／北大阪急行線の延伸事業のうち土木工事／JR 飯田橋駅ホーム移設事業／多摩川スカイブリッジ／中央自動車道上田川橋の床版取替え／北陸新幹線 福井開発高架橋建設プロジェクト／陸前高田市震災復興事業の工事施工等に関する一体的業務／【特別賞】 廣野ゴルフ倶楽部コース改修工事／【特別賞】 芽登第二発電所 導水路改造プロジェクト

【土木賞】 土木賞は、募集の前年末までに概ね竣工した土木分野のプロジェクト・構造物を対象に、事業企画、計画・設計、施工及び維持管理などに関する総合評価により選考を行います。選考に当たり、特に、施工プロセスの視点（施工プロセスの改善、良質な社会資本の効率的創出、土木技術の発展・伝承など）を重視しています。

▶詳細や他の写真などは右の二次元コードからWeb ページにアクセスしてください。



受賞理由

多摩川スカイブリッジは、国際戦略総合特区である両岸の川崎市殿町地区（キングスカイフロント）と羽田空港跡地地区（羽田グローバルウイングズ）を繋ぐ延長約 674 m の橋梁であり、羽田空港を含む京浜臨海部の連携と国際競争力のさらなる強化を支える重要なインフラのひとつである。

本工事は橋梁を含む延長 840 m、標準幅員 17.3 m の道路を整備したもので、支持層が深い軟弱地盤や、航空法による高さ制限と船舶航行空間の確保などの制約の下で、右岸側干潟の生態系保持空間の保護・保全や、河口周辺空間における水平基調の景観と調和する橋梁の設置が求められた。これに対して橋梁の構造は「鋼 3 径間連続鋼床版箱桁橋」とし、鋼上部工と RC 橋脚を剛結する複合ラーメン構造を採用することにより国内最大の中央支間長 240 m を有しながら桁高を 7 m に抑えたスレンダーな橋梁を実現している。

施工においては、フローティングクレーン架設や、台船架設、張出し架設、送出し架設などを条

件に応じてそれぞれ併用することにより、空港空域制限や生態系保持空間保護、潮位変動などの制約条件を克服している（写真－1～4）。特に自然環境の保全においては「環境モニタリング計画」および「干潟の保全・回復計画」を事前に策定し、生態系への影響を確認しながら、仮設鋼矢板による緩衝帯の設置をするなどの対策を実施している。これにより干潟浚渫による影響の最小限化や、浚渫土の埋戻しによる干潟および生態系の早期回復を図っている。さらに、低位置照明の採用による多摩川水面への漏れ光の低減や、歩道マウントアップ部を活用した鋼製排水溝の設置による維持管理部材の低減や景観性の向上など、細部に渡って景観や自然環境の保全、維持管理性の向上を図っている。

本工事は、空港近傍の河口部の厳しい条件下において、関係各所と密に連携しながら豊かな自然環境の保全と、空、橋、水辺による優雅な景観の創出を高いレベルで実現しており、日建連表彰土木賞に値するものであると認められた。



写真－1 送出し架設・張出し架設



写真－3 台船架設



写真－2 大ブロック浜出し



写真－4 一括吊上げ架設